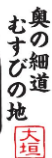


奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部



令和六年九月度 入賞句一覧

投句数 二千十四句

特選

遠藤 幹郎 選

ただいまと言うよりさきにまず麦茶

大垣市

森 太一（小六）

学校から帰った作者。暑かつたのでしよう。「まず麦茶」が、効いています。よく冷えた麦茶は、きつとおいしかったです。自分で冷蔵庫から取り出して飲んだのでしよう。今年の夏は酷暑つづきで、読者にも共感を呼ぶ一句となったことでしょう。

流れ星誰にも言わない願い事

大垣市

安田 橙矢（中二）

流れ星に三回願いをとなえると、願いが叶うという言い伝えがあるようです。流れ星は、ほんの一秒くらいで視界から去ってしまうと言います。作者は、その願い事が何かを誰にも言わないと強く言っています。その秘めた願い事を流れ星に向かつてとなえた作者の姿が浮かんでくるようです。

ぶどうがりルビーの宝石手をのばす

大垣市

伊藤 晟牙（小六）

「ルビーの宝石手をのばす」が、いいですね。ルビーは、赤色を帯びた透明な宝石です。ルビー色をした宝石のように、食べ頃になった一房をぶどう園で見つけた作者は、自然に手が伸びて切り取ったというのです。よく熟れたぶどうを「ルビーの宝石」とたとえたところがいいですね。さぞおいしいぶどうを味わったことでしょう。

秀逸

プランターおつきなトマト真つ赤だな

大垣市

浅野 晴香（小五）

青い空青田の色とグラデーション

大垣市

大橋 万葉（小六）

妹と二人でいそぐ蚩狩

大垣市

池内 楽斗（中二）

大空や雲一つない炎天下

大垣市

七里 桃花（中二）

床につき耳をすませば虫の声

大垣市

高橋 雄星（中二）

友達が黒光りする日焼けして

大垣市

水落 友香（中二）

雨が止み打上花火空に咲く

大垣市

子安 裕恒（中二）

番にて庭飛び回る揚羽蝶

大垣市

伊藤 徳亮（中三）

ひまわりがたいようにむき日をあびる

大垣市

鯖戸 涼介（小六）

流れ星光る軌道は一直線

大垣市

下中 健（中三）

入選

カブトむしつのがでかいよつよそうだ
 夏の月夜空の中がかがやいて
 空見ると入道雲がでかすぎる
 アジサイはポップコーンの花のよう
 池の中ゆうがにおよぐ錦鯉
 妹と仲良く二人昼寝かな
 夏の星夜空を照らす道しるべ
 妹と将棋を楽しむ夏の月
 山の奥ねそべって見る星月夜
 旅の夜天を見上げる星涼し
 下校道右も左も柿紅葉
 帰り道空見上げれば流星群
 お母さんと幸せ時間日傘の中
 大音量カラフル花火空覆う
 人生の岐路に立つ我子規忌かな
 すずむしのねいろをきいてねむくなる
 外に出て家族みんなで月見する
 笛がなりフリースローで汗おちる
 コスモスが仲間と共におどつてる
 友達と食べて遊んで夏祭り

大垣市

高木 ゆの（小三）

大垣市

中村 美琴（小五）

大垣市

陸田 篤希（小六）

大垣市

山田 侑実（小六）

大垣市

前田 瑞季（小六）

大垣市

川口 心琉（中二）

大垣市

高木 虹来（中二）

大垣市

水谷 舞衣（中二）

大垣市

小椋 美莉香（中二）

大垣市

藤塚 深月（中二）

大垣市

田邊 美月（中三）

大垣市

五十川 心温（中三）

大垣市

齋藤 琴音（中三）

大垣市

今井 小百合（中三）

大垣市

高橋 祐貴（中三）

大垣市

松岡 采音（小二）

大垣市

伊東 希実（小六）

大垣市

名和 茜音（小六）

大垣市

野村 咲妃（小六）

大垣市

渡辺 瑠海（小六）

選者吟

教会の鐘鳴りひびく花野かな

幹 郎



小中学生の部